

北海道札幌視覚支援学校



学校だより

令和7年度 第2号

令和7年7月28日発行

〒064-8629

札幌市中央区南14条西12丁目1番1号

TEL 011-561-7107

URL <http://www.sapporoshikaku.hokkaido-c.ed.jp/>

1学期を終えて ～ウェルビーイングな学校づくり～

副校長 坪川 寛司

本日の終業式をもって1学期が終了します。新年度のスタートから約3か月が経ち、本校の幼児児童生徒は日々の授業や学校行事などのさまざまな教育活動を通して、心も体も成長してきました。

本校では、今年度、「ウェルビーイング(Well-being)」を重点の一つに掲げ、本校に通う皆さんが楽しく幸せに過ごせる学校づくりに取り組んでいます。ウェルビーイングとは、単なる健康や快適さにとどまらず、「心の安定」「人とのつながり」「自己肯定感」などを含む、幅広い「しあわせ」の状態を指します。本校の幼児児童生徒はもちろんですが、教職員や地域の方々も含めた皆さんが「幸せを感じる」「自分らしくいられる」ことを大切にしたいと考えています。

さて、1学期には、各学部でさまざまな行事や教育活動が行われました。

幼稚部・小学部では、遠足や校外学習を通して、自然と触れ合い、友だちと関わる楽しさを実感しました。運動会では、力を合わせて最後までやり抜く姿が印象的で、会場は温かい声援と笑顔に包まれていました。

中学部では、宿泊研修や見学旅行を実施し、共同生活の中で活動を共にしながら、互いに支え合い、協力する経験をしました。

高等部普通科では、オープンスクールで生徒たちが来校した方々に学校生活の魅力をプレゼンテーションしたり校内を案内したりするなど、主体的に行動する姿が見られました。

高等部専攻科では、道庁でのマッサージの校外臨床実習を定期的に行い、実践的な学びを深めるとともに、視覚障がい教育や理療への理解啓発にも取り組みました。

これらの活動は全て、本校の幼児児童生徒のウェルビーイングを高める貴重な学びの場となりました。活動の中で聞かれた「できた」「楽しかった」「ありがとう」といった言葉が、学校全体にあたかな雰囲気を広げ、幸せな学校づくりにつながっています。

さて、夏季休業期間は、一息ついて、自分自身のペースで心と体を整える大切な期間です。生活リズムを大切にしながら、安全・健康に留意し、ご家庭や地域での豊かな体験を重ねていただければと思います。また、8月19日(火)から21日(木)にかけて、本校が主管する「全国盲学校フロアバレーボール大会」が北海きたえーるで開催されます。本校スポーツ部も出場し、全国盲学校の選手たちと競い合います。生徒たちの挑戦と活躍にご声援をお願いします。

皆さんが心身ともに健やかに夏休みを過ごし、2学期にはまた元気に笑顔で登校してくれることを願っています。

幼稚部

たなばた会

教諭 島貫 麻衣子

7月7日、たなばた会を行いました。登校すると、天の川に見立てて飾り付けされた教室に少しびっくりした様子。天の川をポンポン叩くと飛び出してくる星やきらきら輝く電飾を眺めながら、行事への期待感を高めていました。

甚平姿で「たなばたさま」を歌ったり、笹の葉を飾り付けたり、短冊に書いた願い事の発表をしたりしました。年中児の願い事は「たくさんお外であそべますように★抱っこもしてほしいです♥」、年少児の願い事は「ママのりょうりがたくさんたべれますように」と「たくさん寝て、たくさん食べて、たくさん遊ぶぞ!」です。みんなの願いが叶いますように…。



ドキドキの提灯行列へ出発する前に「提灯って何かな?」と実際に触り、ろうそくを付けて歩いてみました。提灯の上に手をかざすと、ろうそくの温かさを感じることができました。そしていよいよ出発!「ろうそくもらいのうた」を上手に歌って、先生方からお菓子を受け取ることができました。年

少児は初めての経験でしたが、「ありがとう」とお礼を伝えることができ、多くの先生方とのふれあいを楽しんでいました。



小学部

「見学旅行の思い出」

小学部6年 吉岡 愛琉

教諭 佐藤 恵美子

7月3、4日1泊2日で小樽方面へ見学旅行に行き、公共交通機関のバス、電車、人力車、海上観光船、ロープウェイに乗車する体験をしました。海上観光船では、潮風を頬に受け、潮の香り、波しぶき、カモメの鳴き声、船のエンジン音などを肌や耳で感じ、船の上での時間を笑顔で過ごしました。



人力車では、風を感じて街を駆ける疾走感をとても喜び、「人力車、楽しかった」とうれしそうに話をしていました。

オルゴール店では10曲以上も曲を聞き比べ、お気に入りの一曲を選びました。ホテルの部屋に到着し、買ったばかりのオルゴール



をすぐに箱から取り出し、何度も自分でオルゴールのネジを巻き、繰り返し耳元で聞いて楽しみました。翌日には「オルゴール、もう一個ほしい。」としきりに言っていたのが印象的でした。それだけオルゴールを気に入ったのだと感じました。旅行中、穏やかに過ごし、たくさんの笑顔が見られました。小学部最後の宿泊行事が楽しい思い出になったことと思います。

宿泊研修

「楽しかった子どもの谷」

小学部5年 八木 晴叶

子どもの谷では、「オレンジエッグ」であそびました。頂上に行くまでに何度も落ちたのが楽しかったです。「溶岩すべり台」では、最初はまっすぐすべり、途中から曲がってびっくりしましたが、楽しかったです。また行くことがあったら、あそびたいです。

「とてもよくできたカレー作り」

小学部5年 安齋 颯馬

カレー作りでは薪割りが楽しかったです。薪を刃にさし、金づちでたたいてたくさん割りました。たたいてわるところが楽しか

ったです。材料の野菜を切るのは少し緊張しましたが、無事に切ることに成功しました。そして切った薪をかまどに入れてご飯とカレーを作りました。できたカレーはとてもおいしかったです。



「意外と大変だったクラフト体験」

小学部5年 加須屋 完太

クラフト体験では、箸を作りました。箸を作るのは簡単だと思っていたけど、すごく大変でした。特にやすりで太さを調整することや、角をなくすのが大変でした。だけど太さを上手に調整できて嬉しかったです。作った箸を家で使ったらすごく使いやすかったです。

「みんなで楽しんだ宿泊研修」

小学部5年 齋藤 瑠吾

僕が宿泊研修で楽しかったことは、みんなで一緒にお風呂に入ったり、みんなで寝

たりしたことです。来年の見学旅行も楽しめたら良いなと思っています。

中学部

社会見学

教諭 藤澤 穂高

6月17日（火）に社会見学へ行きました。一つ目の見学場所は、「ふきのとう文庫」で、拡大写本や布の本などを読んで楽しみました。また、拡大写本を実際に製作している場面や、布の本を作る体験をさせていただきました。

二つ目の見学場所は、「北海道 盲導犬協会」で、盲導犬に実際にふれ合ったり盲導犬の役割、お仕事について学習することができました。

また、交通系ICカードを使い「じょうてつバス」に乗る学習や



びっくりドンキーで点字のメニューを借りて注文する学習など、色々な経験をすることができました。大変暑い中の社会見学でしたが、体調管理に気をつけて元気に戻ってくることができました。お疲れ様でした。



高等部普通科

見学旅行の思い出

高等部普通科2年1組 鎌田 久紗樹

私たち普通科2年生は5月20日～23日までの4日間、京都・大阪方面へ見学旅行に行きました。思い出はたくさんありますが、特に思い出に残っていることを3つ紹介したいと思います。

1つ目は、21日に行った自主研修のことです。私たちは自主研修で「人生制服」に行ってきました。そこでは韓国の制服をレンタルで貸してくださり、可愛い制服が沢山並んでいました。私は水色の制服を着て、大阪の街中を友達と歩き回りました。韓国人になれた気分でした。

2つ目は同じく自主研修で、韓国料理を食べたことです。私は辛いのが好きなのでスンドゥブを辛くしましたが、思った以上に辛かったです。そのほかにヤンニョムチキンを食べましたが、私たちも先生方もお腹がきついということだったので、最後は指スマ対決で残ったチキンを食べるか勝負をしました。とても面白い自主研修になりました。

3つ目はUSJです。特に思い出に残っているのは、マリオのエリアに入れたことです。私は初めてマリオのエリアに入れて、入場した瞬間ワクワクが止まらず、とても興奮しました。ヨッシー・アドベンチャーに乗って卵を見つけることができました。また、エルモのゴーゴースケートボードはだんだん揺れが激しくなっていくのが楽しかったです。見学旅行ではたくさんの思い出、

勉強ができて貴重な体験となりました。また、いつか自分で関西へ旅行に行きたいと思います。



札幌龍谷高校との交流を振り返って

高等部普通科2年1組 工藤 寧々

昨年まで交流していた聖心女子学院の閉校を経て、今年は初めて札幌龍谷高等学校インターアクトクラブとの交流及び共同学習を行いました。6月24日（火）、本校に龍谷高校の生徒を迎え、対面での交流を行いました。今回は午後の2時間という限られた時間でしたが、自己紹介や学校紹介、介助体験のデモンストレーションなどを通して、互いの学校や学びへの理解を深めることができました。

私は生徒会役員として、交流の準備や進行を行いました。初対面の相手に緊張する生徒もいましたが、活動を通して自然と笑顔が増え、積極的に会話を楽しむ姿が印象的でした。今回の交流を通して、私は人々とのつながりの大切さや、共に学び合うことの喜びを改めて感じることができました。



高等部専攻科

道庁マッサージ

高等部専攻科理療科3年2組生徒

私たちは6月25日に北海道庁にて校外臨床実習をさせていただきました。一部屋をお借りし、生徒4名と教員1名の計5名が1人あたり5名ずつ、合計25名の患者様を施術しました。また、前回まで椅子での施術でしたが、今回初めて簡易ベッドを1台持参し、腰に症状のある方の治療も行える態勢だったため、幅広い症状に対応できました。ヘルスキーパーの仕事を疑似体験する中で、働きながら治療院に通うことが難しい方々への理療の意義を改めて感じました。

私は今回、これまでの校外臨床実習の時の私たちの変化を感じました。1年生から幾度か校外臨床実習を重ねてきましたが、3年生の今年は、約8ヵ月前から続く日々の校内臨床実習を経て臨む機会でした。それを経験する前の校外臨床実習は、理療啓発とともに癒しの色が強かったように思います。定型の手技を基盤にコミュニケーションをとりながら心地よくすることが主でした。一方、今回はそれに加えて、患者様の

症状を重視してその軽快を目指すという治療の色が強くなったと感じました。症状がうかがい、症状の発生に関係する筋や動作などを考え、施術し、軽快に努めるという治療目的を持つ意識が以前より強くなったと感じます。こうした意識の変化は、校内臨床実習の経験から生じたのだと思います。今もなお、施術者として未熟ではありますが、日々の積み重ねによる以前との違いに気づく機会をいただいたと感じています。今後も校内及び校外臨床実習における一つ一つの施術経験を治療の糧にしていきたいです。このような貴重な機会をいただき、ありがとうございました。



8～12月の主な行事

8月19日(火) 全国盲学校70周年記念大会
～21日(木)

26日(火) 現場実習(普2・3組)
～9月27日(土)

26日(火) 夏季休業終了

27日(水) 2学期始業式(幼小中)
集会(高)

27日(水) お悩み相談週間
～9月10日(水)

31日(日) 校外臨床実習北海道マラソン(専)

9月 4日(木) 子どものためのKitara 参加型音楽会(小)

10日(水) 前期期末考査(高)
～12日(金)

11日(木) 文体連(旭川)
～12日(金)

18日(木) 校外臨床実習道庁(専)

18日(木) 前期期末考査(中)
～19日(金)

19日(金) 個別懇談週間(幼小中普23組)
～10月3日(金)

25日(木) ぎょれん「食で学ぶ」(幼小中)

27日(土) 科学ヘジャンプ

10月 1日(水) 後期始業式(高)

3日(金) 第2回参観日

18日(土) 学校祭 ～19日(日)

20日(月) 振替休日 ～21日(火)

29日(水) 専攻科入学体験会

31日(金) PTA研修会

11月 7日(金) ECC(中)

8日(土) 音楽部演奏会

11日(火) 学校公開

14日(金) 休業日

21日(水) 校外臨床実習道庁(専)

25日(火) 後期中間考査(中)

25日(火) 後期中間考査・学年末考査
(高) ～27日(木)

12月15日(月) クリスマス会(幼)

22日(月) 2学期終業式(幼小中)
集会(高)

23日(火) 冬季休業
～1月15日(木)

後記にかえて

第3号は、12月発行の予定です。
皆様、体調に気を付けてお過ごし下さい。